

子供たちの実態

- ・素直で、好奇心旺盛、優しさを秘めている。
- ・自分の考えを伝えようとする意欲があるが、語彙やスキルが不足している。
- ・課題に取り組む意識があり、学んだことを素直に受け入れ身に付けていこうとする。
- ・手伝い、当番をきちんとする働き者が多く、指示どおり動くが、判断を教師に仰ぎ自分で考えて行動できない。
- ・いいことも悪いことも誰かと一緒にできる。やるべきこと、正しい行動は理解しているが、良い行動を茶化す雰囲気にならされて、表現したり実行したりできない。

子供たちの課題

- ① 一人一人の良さを阻害する 集団の雰囲気、同調圧力
- ② 自分の言葉や行動を振り返り、改善しようとする態度
- ③ 伝え合うための知識・技能、表現力
- ④ 主体的、自律的態度

保護者や地域の状況

- 南中山中学校区3校で共有された小中9年間で育てたい子供の姿
 - 【学び】自ら学び、伝え合う児童生徒
 - 【心情】認め合い、関わり合いを楽しむ児童生徒
 - 【行動】自ら行動し、高め合う児童生徒
- 「自律した生活習慣作り」に積極的に努めている」と肯定的な回答した保護者の割合は、60.4%（令和4年度12月）

重点的に育成を目指す資質・能力

	【確かな学力】 かしくよく考え工夫する子供	【豊かな心】 なかよく思いやりのある子供	【健やかな体】 たくましく健康でたくましい子供
知識・技能	思いや考えを表現するための語彙や技能	誰もが尊重される存在であることへの理解	自分の命を守り、健康を維持するための知識
思考力・判断力・表現力	自分で考え、相手意識を持って伝え合える力	自分の言動を振り返り改善できる力	健康で自律した生活を選択する判断力
学びに向かう力、人間性	自分をより高めようと挑戦し続ける態度	友達の気持ちを受け止め互いを認め合う態度	安全な行動や心身の健康を考えた生活習慣

中長期的目標

目指す学校像

- ① 楽しい学校
- ② 子供一人一人を大切にしている学校
- ③ 分かる学校
- ④ 学ぶ楽しさと力を伸ばす学校
- ⑤ 伸びる学校
- ⑥ 地域とともに歩み社会性を育む学校

学校教育目標

豊かな心と確かな力を持ち、力強く未来を生き抜く児童の育成

目指す教師像

- ① 分かる授業、楽しい授業を作り上げ、協働精神にあふれる教職員
- ② 子供たち一人一人を大切に、夢を応援できる教職員
- ③ 笑顔を忘れず、地域住民、保護者、同僚に信頼される教職員

短期目標

今年度、特に重点的に育成を目指す資質・能力

- ・自分で考え、相手意識を持って伝え合える力
- ～ 相手の心に届く「伝え方名人」 ～

令和5年度重点目標

学校で目指す重点目標

重点目標1 【確かな学力】 自分で考え、相手意識を持って伝え合える力	重点目標2 【豊かな心】 自分の言動を振り返り改善できる力	重点目標3 【健やかな体】 安全な行動や心身の健康を考えた生活習慣
---	--	--

三者協働で目指す重点目標

重点目標4 (協働型学校評価到達目標)【案】 主体的、自律的態度の育成
--

重点目標1	重点目標2	重点目標3
具体的取組 <ol style="list-style-type: none"> ① 子供たちが見通しを持ち自ら学ぶ学習活動の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・学習進度を自ら調整しながら取り組む単元の構想 ・興味・関心に応じた学習活動や学習課題の設定 ・校内研究としての取組推進 ② 相手意識を持って伝え合うための知識・技能、表現力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「考えを持つ、表現する、振り返る」場面の設定 ・情報端末の活用 ③ 学習技能や学ぶ意欲の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・「情報活用能力」の育成 ・学習活動への授業内のこまめなフィードバック 	具体的取組 <ol style="list-style-type: none"> ① 自分の言動を振り返り、改善できる態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・自分も相手も大切に自己表現(アサーション)の向上 ・「たく生き」の実践(「かかわる力」「みつめる力」を重点にした活動) ② 様々な人との関わりや集団活動する機会の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢集団での活動の機会の設定 ・自主的な児童活動の推進 ③ 互いを認め合う学級づくり <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中で自分の思いや考えを発信できる時間を保障 ・援助希求しやすい教員の聴く姿勢 	具体的取組 <ol style="list-style-type: none"> ① 自他の命を守る学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「命を大切にする教育」の推進 ・危険の予測や身の守り方 ② 体力や健康の増進につながる自律した生活習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> ・体力や健康への影響を理解する学習(メディア利用時間、睡眠時間、食事、運動習慣等) ・運動習慣づくり(「コロナ下集中対応プラン取組事例集」等の活用)

協働型学校評価における今年度の重点目標【案】
自律した生活習慣づくりに取り組む児童の割合を70%以上にする。

三者による改善活動
学 校 地 域 ・自分で計画して家庭学習に取り組ませるなど、自律した時間の使い方を考えさせる。(「家庭学習カード」等の活用) ・自分の生活習慣を定期的に振り返らせる。(「すくすくシート」等の活用) ・メディア利用時間、就寝時刻、家庭学習、家事分担などのルールを作る。 ・子供の話を聞いたりと一緒に活動したりする機会を作る(会話、読書、読み聞かせ、家事、運動など) ・大人から挨拶をしたり、進んで行動する子供に肯定的な声掛けをしたりする。 ・積極的に学習支援に関わるとともに、地域の中で児童が関わる機会を作る。